

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

- 1 保健所・保健センターの保健師が地区担当制により、精神障害者や家族の支援、地域連携を行っている
- 2 保健所では既に23条の対象者の支援の取り組みを行っている
- 3 精神保健福祉包括ケア推進協議会を立ち上げた

課題	課題に解決に向けた取組状況	取組の成果
入院患者の退院後支援	平成30年度調査を基に、更に令和元年度病院を対象に長期入院患者の調査を実施した。結果を取りまとめ、精神保健福祉包括ケア推進協議会で報告した。調査結果を基に退院後支援について部会等で検討する。	医療機関と具体的な退院支援の仕組みを検討する必要がある。
在宅療養支援体制の充実	保健センターにおける精神障害者と高齢者家族の実態を確認した。また、精神保健福祉包括ケア推進協議会や部会で在宅療養支援についてのテーマで検討を行った。	退院後支援及び在宅療養支援を強化するための検討を行い、平成2年度から多職種連携によるアウトリーチ支援事業を予算化した。
精神障害に関する普及啓発、家族への支援	精神障害に関する普及啓発としての多種の講演会を効果的に実施するための検討を行った。家族支援の検討を行った。	令和2年度は家族支援に向けて、準備している。

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①長期入院患者数	343人	323人	令和元年度630調査で、長期入院患者は324人である。
②退院後支援及び在宅療養支援に関わる支援体制構築のための検討会の開催	3回	3回	調査結果を基に、検討を行う。

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。